

# Rotary



## 安城ロータリークラブ

# 週報

【No.658/ 2014/11第1例会】

例会日: 毎週金曜日

例会場: 碧海信用金庫本店3F  
安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866  
FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

## 第2799回例会

2014年11月7日(金) 12:30~13:30

司会者: 加藤 正人君

ソング: 「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト及びビジター:

ガバナー補佐

地区青少年交換委員会委員

IM実行委員長

IM副実行委員長

クロダ	カツモト	
黒田	勝基様	高浜RC
ムラセ	タツオ	
村瀬	竜雄様	東知多RC
アサオカ	ハタカ	
浅岡	憲隆様	高浜RC
オガサワラ	ヨシオ	
小笠原	芳夫様	高浜RC



2014-2015年度RIテーマ:

「ロータリーに輝きを」

安城ロータリークラブ会長方針:

「楽しいロータリーを創ろう」

- 会長: 永谷 文人
- 幹事: 横山 真喜男
- クラブ会報: 亀島深里・辻隆士・海野広明
- 創立日: S33年1月10日
- RI加盟認証日: S33年2月6日



2015年ロータリー国際大会  
サンパウロ(ブラジル)公式マーク

## ■ 会長挨拶

永谷 文人会長

### ① 絵手紙紹介



### ② 会員紹介

◆ 神杉酒造(株)(杉本 汎平君)



◆ (株)アコーデザイン(辻 隆士君)



## ■ 幹事報告

寺田 孝司副幹事

1. 本日例会終了後会議室にて、ミャンマー説明会を行います。
2. 安城フォトコンテストのチラシとポスターを配布いたします。ポスターは会社やご近所において、掲示していただけて下さい。
3. 11/21夜間例会の出欠及び「川本」への感謝金を事務局までお願いします。
4. 11/21予定しておりましたロータリー情報委員会はありません。12/12に勉強会・懇親会を行います。
5. 2/21.22地区大会の案内を配布いたしました。理事・委員長・3年未満の方が参加義務者です。  
3年未満及び任意参加者の方は、登録料¥12,000をお願いします。
6. 安美展の安城RC賞が決まりましたので、回覧いたします。
7. ガバナー月信の個人配信方法を配布いたしましたので登録をお願いします。
8. 11月のロータリーレートは、1ドル=106円です。

## ■ 今月のお祝い

### ★ 叙勲

加賀昭成君 瑞宝双光章（本日天皇陛下に拝謁されていますので21日夜間例会時お祝い致します）

### ★ 会員誕生日祝

勝見乙平君(11/7) 石川徳重君(11/10) 磯貝廣治君(11/21) 戸谷 央君(11/26) 内藤教恵さん(11/27)

### ★ 夫人誕生日祝

松本昭子(あきこ)様(11/2) 築山みなみ様(11/26)

### ★ 結婚記念日祝

加賀昭成・宣代(のぶよ)ご夫妻(11/12) 横田秋三朗・敏子(としこ)ご夫妻(11/14)

近藤裕保・初代(はつよ)ご夫妻(11/15) 神谷明文・布左子(ふさこ)ご夫妻(11/18)

恒川憲一・昌子(まさこ)ご夫妻(11/23) 大見 宏・芳枝(よしえ)ご夫妻(11/24)

林 幸一・恵子(けいこ)ご夫妻(11/24) 加藤正人・ゆかりご夫妻(11/25)



おめでとうございます！

## ■ 出席報告

戸谷 央君

会員	61名
出席義務者	46名
出席	37名
欠席	9名
出席免除者の出席	14名
出席率	85%
修正出席率	10月17日 第2797回 88.3%

## ■ ニコボックス報告

石川 義典君



## ■ 社会奉仕委員会

委員長 恒川 憲一君

### 第1回安城ロータリー杯争奪少年野球大会(安城選抜VS岡崎選抜)

11月3日 快晴の安城スタジアムにて、第一回安城ロータリー杯争奪少年野球大会が開催されました。今年から岡崎ロータリークラブがRCCに参加なくなり、安城ロータリークラブ単独の活動となりました。恒川社会奉仕委員長の開会宣言、永谷会長挨拶で始まり、試合は緊迫した投手戦で岡崎選抜チームが2-1で勝利。サインプレーもあり、まさに小学生とは思えない熱戦試合でした。永谷会長の始球式は、当日のブルペンでの練習の成果か、ナイスピッチングのストライク。会長も自らの出来にご満悦でした。今後も子供たちの育成に継続的な支援活動をしていきたいと思ひます。



安城ロータリークラブ参加者  
永谷会長・横山幹事・恒川社会奉仕委員長  
内藤地区RCC委員・事務局中嶋



※掲載した原稿はそのまま掲載しています。

## テーマ「ロータリー青少年交換事業について」

### 1. 青少年交換事業の歴史と実績

- ・1929年 デンマークのコペンハーゲンRCでヨーロッパ内のみで始まる
- ・1961年 日本(九州)とオーストラリア間で交換開始
- ・1968年 第260地区(第2760地区の前身)と米国間で交換開始  
派遣累計367名、受入累計357名
- ・現在第2760地区は 英語圏:オーストラリア、米国、カナダ  
非英語圏:欧州、南米、アジア の13ヶ国と交換を実施中
- ・世界においては、2003年実績92カ国、8794名の学生の交換がありました。



### 2. 仕組み(スケジュール～派遣～受入)

- ・次年度(2009-2010年度)のための青少年交換プログラム概要は地区協議会(08/4/13)で発表されます(交換学生数は派遣10名以内、受入同数以内とする予定です)。
- ・1サイクル(募集～決定～派遣～帰国)が3-4ロータリー年度にわたるものです。従って、引継と継続が重要なプログラムです。
- ・交換事業を実施するロータリークラブはカウンセラーを任命し、学生が来日から帰国まで(年度をまたがる)面倒を見るのが大切です。
- ・**ロータリークラブ会員の子弟が参加できる唯一のプログラムです**
- ・高校生を対象とした、語学留学ではなく国際理解、国際親善を中心目的とした1年間の留学プログラムです。善意と国際理解のロータリー使節(Rotary Ambassador of Goodwill and 2nternational 1nderstanding)として1年間派遣します。
- ・選考決定後約1年間、地区委員会、ROTEX(帰国学生)等が留学時の生活、学校、友人の作り方、危機管理等のオリエンテーションを行います。留学生在活が充実し、安全でかつ実りあるように指導します。
- ・また、国際親善のための留学であることから、日本の文化、歴史、経済等、派遣先国で十分国際相互理解が図ることができるよう、教育します。
- ・**各種留学制度の中でもっとも安全で、もっとも安い留学ができます。**  
それはロータリークラブとして学生の面倒を見て、受入を保証する数カ国から十数カ国の学生と親交を深めることができます。からです。また、派遣先国では各国からのロータリー交換学生との交流を通じて、第2760地区でも、13ヶ国からの学生がそれぞれ同じ目的で1年間過ごすことから、強い友好関係が築けるようです。
- ・学生の留学に関する保護者の費用は、往復旅費、緊急時費用(使わない場合がほとんど)、保険料、個人的費用(私服、電話代、遊興費等)のみで、学生本人に対しては、ホストロータリークラブから毎月の小遣い(1万円/月見当)さえ支給されます。
- ・交換を基本とするため、派遣/受入が行われます。  
受入のみでもかまいません、また、ロータリアン個人としてホストファミリーのみを体験することも地区で斡旋できます。
- ・国際的に承諾されたルール、規程にサインをして交換します。それに違反した場合は、強制帰国の対象になります。絶対してはならないルールは、DRIVE(動力付き乗り物の運転禁止)、DRINK(アルコール飲料の飲酒禁止)、DRUG(喫煙、薬物の禁止)、DATE(男女間の緊密な交遊の禁止)=4Dルールがあります。  
これは、学生の安全を保証するためのルールで、活動を規制するためではありません。
- ・そのほか、学生の安全や日本文化を理解させるために、門限、家事の役割分担など、各家庭でルール化します。
- ・『虐待とハラスメント』防止の為に仕組みができました。ボランティア誓約書に署名をしていただく必要があります。  
また、危機管理の仕組みを十分ご理解いただきたいと思ひます。(説明の伺ひます)。

### 3. ホストRCになりませんか？

- ・ホストロータリーまたは、ホストファミリーを体験してみませんか？必ずやって良かったと感じます
- ・学生達は来日から、序々に日本を理解し、友達の輪が拡がり、帰国するときには日本の大ファンになります。ほとんどの学生がもう一度日本に帰ってくると言っていて帰っていきます。
- ・受入RCとしての必要経費は、毎月の小遣い(1万円/月)、例会等食事費、制服費、通学定期代、修学旅行費(学生個人負担の地区もあります)等、40-60万円/年と考えてください。これだけの費用で、十分納得できる充実した1年間を体験できます。

### 4. 青少年交換事業は素晴らしい -成功の秘訣-

- ・1年間という長期間のプログラムです。肩肘を張らず、自分の子供が一人増えたというスタンスで対応すればいいと思ひます。
- ・ホストロータリークラブ全員が関係するプログラムです。ホストファミリーと国際奉仕委員長だけの事業ではありません。
- ・日本の文化・歴史を体験するために来日したのですから、最初から日本語で通すべきです。YES/NOをはっきりさせることです。
- ・子供の成長(誕生から大人まで)の感動を実感できるプログラムです
- ・自分の子供が世界中にできるような気分になります。結婚式に呼ばれたりするケースも往々にしてあります。  
『お父さん』『お母さん』と呼ばれる嬉しさがあります。
- ・一度経験してみるとその素晴らしさがわかります。  
食わず嫌いにならないで、まず、できるところから体験してみましよう。  
個人としてのホストファミリーとして、近隣クラブとタイアップすることも可能です。
- ・詳細は『青少年交換の手引』を参照してください。

※頂戴した原稿はそのまま掲載しています。

